

「校外学習からの学び」

副校長 亀田 泰紀

4月に着任いたしました副校長の亀田です。着任して3か月が経ちましたが、瀬ヶ崎小は、登下校の見守り、花壇の整備、読み聞かせ、図書室の整備など、学校と地域・保護者が一体となって子どもたちの成長を支えている、人と人とのつながりを大切にしたいあたたかみのある学校だんと強く感じています。学校への手厚い支援に感謝申し上げます。

さて、先日、2年生の八景島シーパラダイスへの遠足に引率として参加しました。昨年度は遠足を実施できませんでしたので、2年生は小学校に入ってはじめての遠足となりました。遠足などの校外学習では、そこでしか学べない貴重な体験があり、子どもたちの大きな成長の場となるとともに、大切な思い出となります。今回の遠足でも多くの学びがありましたので、紹介させていただきます。



一つ目は、本物にふれる体験です。水族館では、とても大きな体をしたシロクマ、不思議な体のつくりをしたマンボウ、泳ぎやジャンプの巧みなイルカなど、さまざまな特徴をもった生き物に出会いました。生き物を見つけるたびに子どもたちは歓声を上げ、目を輝かせながら見たり、触れたりしていました。図鑑やテレビ、画像で見るだけでは感じられない、生き物の息づかいや躍動感、多様性などを五感で学ぶことができ、貴重な体験となりました。

二つ目は、集団行動のしかたや公共のマナーについて学んだことです。2年生ははじめての遠足でしたが、歩道を歩くときは道の端を2列(1列)で歩く、電車内では他の人の迷惑にならないように静かに乗車する、高齢の方の乗車時には席を譲る、お弁当を食べるために使用した場所にはごみを残さないなど、これからの社会生活を送る中で身に付けたい集団行動や公共のマナーをしっかりと実践できていました。また、困っている友達には、「だいじょうぶ?」「手伝うよ。」「ティッシュあげようか?」「もう少しだからがんばろう。」など優しく声をかける姿もありました。友達のよさに改めて気付き、仲をより深める機会ともなっていました。



教室とは異なる環境の中、めあてを意識し、集団行動を成功させるために主体的に活動することの大切さや、協力することの素晴らしさを学ぶことができた1日でした。1年生は金沢動物園遠足、4年生は上郷体験学習や資源循環局見学で、同じように校外学習ならではの学びを体験しています。3年生、5年生、6年生はそれぞれ秋に遠足や体験学習、修学旅行を予定しています。コロナ禍でさまざまな制限は

ありますが、安全・安心を第一にしながら、子どもたちの今しかできない学びを大切にしていきます。今後ともご理解、ご支援のほど、よろしく願いいたします。

御礼

本校第10代校長 佐藤 斉 様から、体育館にスクリーンを寄贈していただきました。今後、さまざまな教育活動で活用させていただきます。ありがとうございました。

